

6

2024

No.171

JA 北さつま



<http://www.ja-kitasatsuma.or.jp/>

くろーばー



特集

探してみよう
里山野鳥図鑑

新しい夢 どんどん



育てよう明日を

JAグループ鹿児島



さつま町で

マンゴー収穫祭



たわわに実ったさつま町のマンゴー

JA北さつまマンゴー部会は4月30日、さつま町広瀬の福岡観光農園で収穫祭を開きました。ハウス内で完熟マンゴーが実り、甘い香りを漂わせています。

部会は2010年からかごしまの農林水産物認証を継続して取得。12年には県域ブランドの産地指定を受けました。現在、生産者4人が63㍏で栽培し、共販量5ト、共販額1000万円を目指します。また、糖度15度以上、1玉2L(350g)以上、外観の紅色が3分の2以上などの厳しい基準を満たしたマンゴーのみが、かごしまブランド『夏



関係者による選入れの様子



今年のマンゴーも上出来です！

姫』となり、200箱以上の出荷を目指します。

栽培品種はアーウィン。果皮がリンゴのような赤色になることから「アップルマンゴー」とも呼ばれます。果汁が豊富で甘みが強く、適度な酸味も含んでおり、濃厚な味わいが特徴です。生産者は実が大きくなると1個ずつネットで覆い、完熟し自然落果したものを収穫します。

収穫祭は今年で22回目。祝迫直人部会長は「JA北さつまのマンゴーは7月中旬ぐらいまで出荷が続く。母の日や父の日、お中元等に安心・安全で甘くておいしいマンゴーを利用してもらいたい」と語りました。

平均55万3529円

薩摩中央家畜市場で5月15日、16日の2日間、子牛せり市がありました。1頭あたりの平均価格は55万3529円で、前回(4月)を6万7001円下回りました。最高値は雌が100万1000円、去勢は104万5000円でした。



子牛せり市成績表(税込み)

薩摩中央家畜市場 2024年5月15日～16日

入場頭数	580 頭						
売却頭数	557 頭						
入 場	売却	最高値	最低値	平均値	平均 体重	kg 単価	前回比
雌	257	235	1,001,000	210,100	484,332	296	1,639 ▲65,846
雄							
去	323	322	1,045,000	232,100	604,030	325	1,858 ▲78,916
総平均値	553,529 円						
前 回 比	67,001 円 安値						
総売上高	308,315,700 円						

唐浜らっきょう

出発式

JA北さつま唐浜らっきょう部会は4月30日、薩摩川内市の網津らっきょう選果場で出発式を開きました。出発式ではテープカットやトラック運転手への花束贈呈などが行われました。

JA北さつまからは下口和幸常務が出席し、「唐浜らっきょうは地域の宝であり、近年では若い生

産者も増え、安定した産地によりみがかろうとしている。今後関係機関や市場関係者の力添えを賜りながら、安定した販売体系を確立していきたい」と話しました。

唐浜らっきょうは大正初期から生産が始まり、1959年に部会が発足。2005年に共同乾燥施設及び選果ラインを導入し、共同

販売体制の確立を図りました。また同年、全国らっきょうサミットの開催地となりました。

今年度は生産者数54人で、栽培面積は22・4ヘクタール。共販量350トン、共販額1億7500万円以上を目指します。収穫作業は6月10日頃まで続き、主に東京、中京、北九州の市場へ出荷します。

上山洋平部会長は「2月上旬以降の気温上昇により、生育も順調。砂丘地で育ったらっきょうはシャキシャキとした食感が特徴。消費者の皆さんにもたくさん食べてほしい」と話しました。



青空に映えるらっきょう畑



関係者によるテープカットの様子



ミネラル豊富でシャキシャキの歯ごたえ

らっきょう出荷協議会

JA北さつま唐浜らっきょう部会は4月16日、薩摩川内市の網津公民館で令和6年度出荷協議会を開催しました。

会議では唐浜らっきょう部会の上山洋平部会長が「競合産地に負けないように、早い時期からの出荷が出来るよう努力していきたい」とあいさつしました。

市場関係者やJA鹿児島県経済連の職員が情勢報告を行い、販売計画や競合産地の生育状況などを説明しました。「らっきょうは漬けるだけでなく生食で食べられることをレシピー等で消費地の人達にわかりやすく推奨していくことで、需要も変わっていくと考えている。販路を広げる体制づくりを今後も産地として努力してもらいたい」と呼び掛けました。

部会では5月2日から集荷を始め、5月中旬に70%以上の販売を行いたい考えです。



真剣に市場関係者の話に耳を傾ける生産者

一番茶の収穫本格化

J A北さつま管内では、一番茶の収穫が本格化しています。生産者は緑一面に染まった茶畑で摘採機を走らせ、艶のある新芽を摘み取っています。

北さつま農協薩摩川内茶業部会では、22人が114畝で生産に取り組んでいます。薩摩川内産のお茶は川内川流域の霧深い中で育まれ、香り高い茶葉が生産されることから、茶商からも高い評価を受けています。



5月の茶畑、新緑の調べ

令和6年産の新茶は、昨年より2日早い4月10日が初上場となりました。年明け1月から茶樹の休眠覚醒時期になる2月全般に渡って、気温が平年より高く推移したことから、出荷の前進化が懸念されましたが、3月の寒の戻りや天候不順の影響から急激な伸育とはならず、昨年並みのスタートになりました。収量276ト、共販額2億3600万円以上を目指します。



新茶の時期、茶工場は大忙しです

MOGUMOGU ふぁーむ

KKB鹿児島放送の番組「MOGUMOGUふぁーむ」で、J A北さつまの唐浜らつきようが紹介されました。武田みどりレポーターが薩摩川内市を訪れ、生産者の永田松次さんから唐浜らつきようの特徴や収穫方法について学びました。

また今回の取材では、J A北さつまの女性職員で構成する販売促進チーム「J・kissおごじょ」の長坂千穂係長が唐浜らつきようを使ったレシピを3種類紹介しました。長坂さんは「らつきようは『漬ける』以外にも沢山食べ方があるので、色々な食べ方で旬の味を楽しんで欲しい」と話しました。

番組はKKBのホームページなどで視聴できます。



収穫体験や試食の取材風景

水稻育苗講習会

J A北さつま生産販売課は5月上旬、管内43力所の会場で水稻育苗講習会を開催しました。育苗の基本となる工程や農薬の使用方法など、復習を兼ねて生産者が多く参加されました。また、営農指導員は農薬使用や農作業の注意喚起を行いました。

初田悠一郎営農指導員は「『育苗半作』ということわざがありますが、米にとっても苗の出来栄えはとても重要。生産者の皆さんには今年も農作業中の事故に充分注意しながら農作業を行ってほしい」と話しました。



真剣に営農指導員の話聞く生産者

農家

さんに行こう！

Q1 農業を始めたきっかけは？

56歳の時から農業を始めました。代々受け継がれている家業を自分の代で潰すわけにはいかない、諦めずに続けていきたいという思いからです。

私はずっと県外で勤務していたので、家業を引き継ぐために薩摩川内市に帰ってきた時には父は病気をしており、現場でしっかりと栽培技術や管理について学ぶことが出来ませんでした。有機栽培については、ほとんど独学でやってきました。

Q2 日々の作業で難しい、大変だと思うことは？

自社は有機栽培なので、先を読んで計画的に管理をしないといけないことが本当に大変です。はじめのうちは樹木の害虫や病気の影響で収益がほとんど取れず苦労しましたが、農業を始めてから10年以上が経った今、栽培技術や勘がようやく形になってきたところ

です。日々の栽培管理は大変ですが、農薬を使用せず厳しい状況で栽培することで、年月が経つと茶の樹木も病害虫へ

の耐性が付いてどんどん強くなっています。

Q3 最近力を入れて取り組んでいることは何ですか？

さらなる品質向上に取り組んでいます。有機栽培は付加価値やブームだけではなく、本来植物が持っている味の良さを引き出すための栽培方法だと思っています。これからも安心・安全でより良いものを消費者の皆さんへ提供していきたいと考えています。

Q4 農業の楽しみややりがいを見せてください。

自社の栽培した茶や商品を知ってもらい、美味しいと評価して貰えた時が一番嬉しいです。桑の葉に含まれる「フィセチン」という成分について鹿児島大学と共同研究を始めてからも、正直どうなのかなと少し不安な気持ちもありましたが、他と違う事をやってみないといけないな、という思いがありました。特許申請してから3年かけて取得できたことも喜びの一つです。

Q5 今後の目標について教えてください。

有機栽培の作物は昔と比べて見た目も味も良くなってきましたので、もっと多くの人に良さを知ってもらい、商品を手にとってもらいたいです。いつかは県外に住んでいる息子達にも、代々受け継がれてきた茶の栽培への想いをこれから先も継承していくて欲しいと考えています。そのためには、受け入れやすい体制や経営を今のうちから確立しておくことが私の務めだと思っています。

プロフィール

宮園 謹吉さん(70歳)

作付面積

茶6畝、桑1畝

大正9年より続く宮園製茶は、今年で創業104年目を迎えます。3代目となる宮園謹吉さんは、鹿児島大学との共同研究で桑の葉に含まれる「フィセチン」という成分が血管のけいれんを抑える効果があることを発見し、令和5年12月に特許を取得しました。今回、代々継承されてきた茶の生産に対する想いをお話してくださいました。



1月 マガモ

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：冬／川、貯水池、水辺

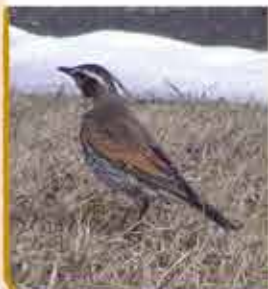


冬になると川や貯水池などの水辺にやって来ます。欧州の置き物にありそうな、緑色の顔のカモはマガモの雄（オス）です。雌（メス）は地味な薄茶色で他種のカモの雌と見分けにくいので、雄を目印に探すと良いでしょう。

2月 ツグミ

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：冬の終わり／公園、田んぼ



あまり鳴かない鳥で、口をつぐんでいるようなので「ツグミ」と呼ばれています。しかしよく観察していると、時々「キョツ」と声を上げます。冬の終わりに公園や田んぼで落ち葉の間の虫やミミズを探している姿を見かけます。体はずんぐりとしていて、素早く走ります。

3月 メジロ

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：ツバキ、梅、桜



落ち着いた緑色の体と黄色いおなか、目の周りの白い輪が特徴です。寒い時期に「チュルチュル」と鳴きながらツバキの生け垣を猛スピードで出入りし、花の蜜を吸っています。庭に梅の花が咲くとやって来て、蜜を吸いさえずります。昼に桜の花見をしながら寝転ぶと、桜の上の方の花にもメジロが来ています。

4月 ツバメ

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：民家の軒下



海を渡って旅をする夏鳥です。4月ごろから見かけるようになり、民家の軒下や道の駅のトイレの入り口など、人目に付くところに巣を作るのでなじみが深い鳥です。8月のお盆過ぎに、南へ戻るための飛行訓練を集団で行う「ツバメの学校」を見かけることもあります。

里山野鳥探してみよう

里山へ野鳥探しに出かけてみませんか。
難しい準備をしなくてもさまざまな種類の野鳥に出合えます。
普段の生活では気が付かなかった、
四季折々の自然の魅力も発見できますよ。

見つけやすさの目安

- ☆☆☆ 市街地でもよく見かける
- ☆☆☆ 自然の中では簡単に見つかる
- ☆☆☆ 事前知識があれば観察できる

野鳥観察のポイントや楽しみ方

田んぼ周辺の里山で、季節を感じられる鳥を12種類選んでみました。野鳥たちはかわいらしい姿を肉眼で確認でき、鳴き声でも存在が分かるため、自然観察の入門として最適です。鳥を見たら、大きさ（スズメ、ハト、カラスと比べて）と鳴き声を気にしてみてください。尾や首の長さ、飛び方なども見分けるヒントになります。慣れてきたら身の回りに何種類の鳥がいるかすぐ分かるようになります。そこから世界が広がるはずです！



田んぼソムリエ 林鷹央（はやし たかお）

三重県生まれ、東京育ち。「田んぼの生きもの調査」を通して全国の農村・学校で生物多様性や農・里山文化の意義を伝える。著書に『田んぼソムリエになる！』（安心農業株式会社刊）がある。

9月 キジバト

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：公園、木のある庭



背中にあるコイのうろこのような模様が特徴です。首にも特徴的な模様があり、80円切手にも描かれていました。「デデッポッポー」と鳴きます。公園や電線で多数群れているのは外来種のドバトで、キジバトは大勢で群れることはあまりありません。巣作りのために木の枝をくわえている姿がかわいらしいです。

5月 ウグイス

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：里山のやぶの中



「ホーホケキョ」と誰もが知る声で鳴きます。梅の花を吸うメジロに間違われることも多いですが、ウグイスは肉食で昆虫などを食べます。やぶの中から声は聞こえるものの、姿を見つけるのは難しいウグイスですが、実際に見たときには地味で特徴のない姿に驚きます。

10月 モズ

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：秋～冬の里、河原



秋を告げる鳥の代表格。肉食で、捕まえた昆虫や小動物を枝に刺す「速にえ」でも知られます。縄張り意識が強く、木や電柱などのてっぺんで「ジキジキ」と鳴きながら尾をグルグルと回す姿が見られます。スズメよりも少し大きくて、肩幅と変わらないくらい頭が大きいのです。

6月 カルガモ

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：池、川、城の堀、田んぼ



渡り鳥ではないため、水辺で一年中見られます。皇居の堀から親子で道路を移動する姿が毎年報じられるなど、子ガモたちが親ガモの後を付いて歩く姿に癒やされます。田んぼにもよく飛来し、あぜに巣を作り、卵を温めていることもあります。

11月 ヒヨドリ

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：秋～春／身近にいる



何羽かの群れていることが多く、「ヒ～ヨヒ～ヨ」と鳴き声がうるさい鳥の代表格です。羽を閉じたり開いたりしながら、上下に波打つように飛ぶ姿は、富山の民謡『こきりこ節』の歌詞にも登場します。夏になると急に姿が見られなくなりますが、涼しくなる頃にまた街中に戻ってきます。

7月 アマサギ

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：中干し中の田んぼ



白サギの仲間にはダイ(大)サギ、チュウ(中)サギ、コ(小)サギの他にアマ(亜麻)サギがいます。アマサギは、夏の時期だけ頭部の羽があま色※になります。比較的乾いた田んぼや草地にやって来ては、バッタやカエルなどを捕食しています。秋には白くなっているのがコサギとよく間違われます。 ※灰色がかった薄茶色

12月 ジョウビタキ

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：電線、庭木



雄はグレーの頭にオレンジのおなか、栗色の羽に白い紋があります。雌は地味な薄茶色で、同じく羽に白い紋があることから「紋付き」とも呼ばれます。冬になると街の電線や庭木にやって来て「ヒッヒッヒッ」と高い声で鳴きます。雄は似た模様を持つモズと縄張り争いを試みるも、まったく歯が立たずに退散してしまいます。

8月 スズメ

見つけやすさ：☆☆☆

観察ポイント：民家周辺、JAのライスセンター周辺



小鳥といえばスズメ、というくらい身近な鳥ですね。人と生活圏が近く、山奥など人のいない場所では見かけません。「チュンチュン」という鳴き声で電線にずらりと並んだり、地面を跳ねたり、砂浴びをしたりと、愛くるしい姿が見られます。雑食なので稲に付く虫も食べますが、お米も大好物です。

伊佐市春季畜産共進会

伊佐市春季畜産共進会が4月18日、JA北さつまの旧伊佐家畜市場で開催されました。若雌1区に22頭、若雌2区に19頭の計41頭が出品され、体積や品位、資質などを比較審査しました。

若雌1区で最優秀賞1席となった溝口敏幸さんの「はなび」が、グランドチャンピオンに輝きました。また、2区の最優秀賞1席には伊佐農林高校の「もみじ」が選ばれました。

審査委員長を務めた全国和牛登録協会鹿児島支部の福田祐貴課長は「全体的に月齢に対しての発育、伊佐地区の牛の良さである体積、体の幅や伸びなどレベルの高い優れた牛が多かった」と講評しました。

グランドチャンピオンの溝口さんは「畜産指導員の協力でグランドチャンピオンを獲得できた。畜産農家にとって辛い状況が続くが、今回の受賞は頑張ってきた褒美だと思う」と語りました。



グランドチャンピオンに輝いた溝口さんの「はなび」

大口育苗センター

温湯消毒

JA北さつまは大口育苗センターで水稻種子の温湯消毒を行っており、令和6年度は特別栽培米と一般米の合計約23・5トンを計画しています。

温湯消毒は、農薬を使わない種子消毒方法で、いもち病やイネシンガレセンチュウなどの病害に効果があります。農薬を使用した方法と同等の効果期待され、生態系や土壌、水質への影響を最小限に抑えることが出来ます。

種子4キが入った網袋を60度の湯に10分間浸し、その後冷水に5分漬けて脱水します。利用者は消毒した種子を持ち帰り、風通しの良い日陰に吊るして乾燥させ保管します。

JA北さつま生産販売課は病原菌の付着を防ぐため、乾燥と保管時には、稲わらやむしろなどの接触を避けてほしいと注意を呼び掛けます。



秋には美味しいお米が収穫できますように

こいのぼりフェスタ

4月29日、川内川大小路みらい公園で、こいのぼりフェスタが開催されました。当日はあいにくの天気でしたが、多くの親子連れなどで賑わっていました。

孟宗竹の竿に揚げられたこいのぼりが風になびく中、会場では様々な飲食店の出店やステージショー、パトカー試乗体験、射的や輪投げなど子供たちが喜ぶコーナーなどで盛り上がっていました。

「川内川に鯉のぼりを揚げる会」会長の貴島浩一さんは「昔はもっとイベントが盛んに行われ、賑わっていた。若い人達にこれからも街を盛り上げて欲しい」と話しました。

今年は川内川に架かる太平橋が150周年を迎える年で、様々なイベントや保全活動が計画されています。



川内川沿いに揚げられた鯉のぼり

ワークパートナー制度

JA北さつまでは新規採用職員教育の取り組みとして、令和4年度からワークパートナー（WP）制度を導入し、教育を充実させています。配属先の先輩職員が教育係（WP）として実務指導を行い、さらに指導を通じてWPの育成能力とキャリア意識の向上を図ることを目的としています。

WPの任期は新入職員仮採用期間の6月末までとなっており、社会人としてのマナーやルール、勤務態度、実務習得に関する指導を行うとともに、仕事や対人関係の悩みなどの相談にも応じ、信頼関係を構築します。所属長は指導状況をもとに新人職員やWPと面談を実施し、研修効果の把握に努め、適切なアドバイスをを行います。

濱田悟参事は「自分で考えて仕事を進められる職員を育てるためには、仕事の意味や背景を先輩職員が伝えていく事が大事。WPに任命された先輩職員は、新入職員と職場のつなぎ役としても頑張りたい」と話しました。



WPに実務指導を受ける新入職員

いさドラゴンカップ2024

伊佐市菱刈カヌー競技場で4月28日、いさドラゴンカップ2024がありました。

チャンピオン、オープン、レディース、など5種目に市内外から60チームが出場。太鼓の音に合わせて力強く漕ぎ、250メートル先のゴールを目指しました。

天候にも恵まれ、応援席からも盛んな声援が飛び交う中、白熱したレースが繰り広げられました。チャンピオンの部は「鹿屋体育大学A」が制し、オープンの部は「River Sports Club」が優勝しました。

中でもオープンの部で5位入賞した「beef cow 飼う」はJA北さつまの畜産指導員と伊佐市の畜産農家で構成されたチーム。伊佐市の畜産業を盛り上げようと毎年出場しています。参加したメンバーは「生産資材の高騰や子牛価格・枝肉価格は低迷しており、畜産経営は危機的な状況になっている。消費者の皆さんにも現状をもっと知っていただき、国消国産、地産地消で農家を応援して欲しい」と話しました。



『Beef cow 飼う』のメンバー達



チーム全員で力を合わせてボートを漕ぎました

薩摩川内市農業公社

入所式

5月1日、JA北さつま川内総合支所で薩摩川内市農業公社の入所式が行われました。本年度研修生として耕種部門に受入れられたのは、清原康一さん(55)。2年程度実践研修や、北薩地域振興局の新規就農者基礎研修に参加し、農業を多角的に学ぶ予定です。

研修生は、薩摩川内市が推薦する野菜・果樹7品目から複数選択し、経営管理・生産管理・営業といった農業経営に必要な事柄を学びます。

薩摩川内市農業公社では、鹿児島県北薩地域振興局、JA北さつま生産部が指導を行い、行政が地元農家の協力とともに管内の新規就農者の受入れ体制を整えています。

清原さんは、福岡県から薩摩川内市に移住し、兼ねてから興味のあった農業を始めようとしていたところ、知人の紹介で本研修のことを知ったということです。

「子どもが手を離れたので、長くやっていけることをやろうと思う、食への興味から農業を始めようと思った。薩摩川内市で頑張っていきたい」と話しました。



認定証を受ける清原さん

JA北さつまフェア

JA北さつまとJA県経済連は4月27日、鹿児島市の農畜産物直売所「おいどん市場与次郎館」でJA北さつまフェアを開催しました。旬の農産物や加工品などを販売し、多くの利用者でにぎわっていました。JA北さつまの下口和幸常務は「安心・安全を皆さんにお届けするよう努めている。地元のおいしい旬のものをぜひ味わってほしい。今後鹿屋島の食の力になりたい」と話しました。

店頭にはトマトやイチゴ、こさなど、旬の農産物11品が並びました。また、生産者が店頭に立って唐浜らっきょうの販売も行い、らっきょう生産者の知識桂太さん(38)と妻の翔子さん(31)は「消費者の声を直接聞けるのは貴重な経験。唐浜らっきょうは栄養豊富で健康に良いので、多くの人に食べて欲しい」と話しました。



唐浜らっきょうの販売を行った知識さん夫婦

園芸

温州みかんと中晩柑類の管理について

梅雨に入り、かんきつ類は粗摘果を始める時期を迎えます。約30年ほど昔、温州みかんは200万トンの生産量があり、生産過剰のため全国で目標を立てて摘果を行い生産調整をしていました。現在、生産量は約70万トンと少なくなってきました。今後は供給する方が生産量を維持していく必要があります。

毎年安定した生産を行う上で、摘果は重要な作業であり果実の収穫量と品質を左右します。これから暑い季節がやってきますが、体調にも十分気を付けて作業を行いましょう。



生産販売課
田中 忠光

1. 摘果の時期

樹種により異なりますが、生理落果（2次落果）終了後から始めます。

年によって着果量が異なるので2～3回に分けて実施しますが、実の少ない樹は樹上選果も考えて収穫まで随時行います。

種 類	粗摘果	仕上げ摘果
早生温州	6月中旬～6月下旬	8月上旬～9月上旬
普通温州	8月上旬～8月中旬	9月上旬～9月中旬
ポンカン	6月下旬～7月中旬	8月上旬～8月中旬
不知火	6月中旬～6月下旬	7月中旬～7月下旬
甘 夏	7月中旬～8月中旬	8月下旬～10月

2. 摘果の方法

(1) 全面摘果

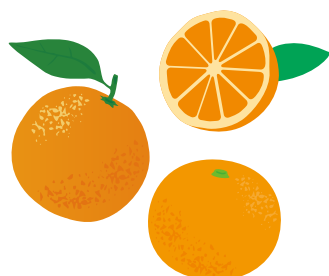
樹冠全体の葉数に応じて実施します。順序としては、まず病害虫被害果、奇形果、風傷果、小果、裾なり果、天なり果を摘果し、次に着果の多い部分の果実を摘果します。

(2) 枝別摘果

部分的に特定の枝を決めて果実全部を摘果し、夏秋梢を発生させて翌年の結果母枝を確保し隔年結果を少なくする方法です。温州みかん（特に早生温州）では、着果させる側枝にまとめて郡状着果させると、着色や品質向上に効果的です。

(3) 幼・若木などの摘果

主枝、垂主枝の先端部付近は摘果して、枝の伸びを妨げないようにします。



3. 主な病害虫防除

(1) 黒点病

伝染源は枯れ枝なので、気付いたらせん徐します。

●薬剤防除としては、表のとおりです。

薬 剤 名	希釈倍数	使用時期	使用回数
ジ マ ン ダイ セ ン 水 和 剤	600倍	収穫30日 (ミカン)	4回
		収穫90日 (カンキツ)	4回
ナ テ ィ ー ポ フ ロ ア ブ ル	1500倍	収穫前日まで	3回
ス ト ロ ビ ー ド ラ イ フ ロ ア ブ ル	2000倍	収穫前14日まで	3回

(2) ゴマダラカミキリ

主幹の木質部で幼虫態で越冬し、成虫の羽化脱出は5月下旬頃から始まり、6月頃ピークとなります。産卵は主に主幹の地際部分から1m以上の高い位置に行われ、産卵最盛期は7月上中旬です。産卵こんや虫ふんの発生が所を確認して針金など用いて捕殺します。また、主幹周辺の除草に努めましょう。

●成虫への薬剤防除としては、表のとおりです。

薬 剤 名	希釈倍数	使用時期	使用回数
モ ス ピ ラ ン S L 液 剤	2000～ 4000倍	収穫前14日まで	3回
エクシレルSE	5000倍	収穫前日まで	3回
ナ テ ィ ー ポ フ ロ ア ブ ル	1500倍	収穫前日まで	3回

(3) 新梢及び幼果を加害する害虫

アブラムシやミカンハモグリガ（エカキムシ）などが発生します。被害されると結果母枝や骨格形成枝として利用できなくなります。

●薬剤防除としては、表のとおりです。

薬 剤 名	希釈倍数	使用時期	使用回数
ア ド マ イ ヤー フ ロ ア ブ ル	2000～ 5000倍	収穫前14日まで	3回
ア ク タ ラ 顆 粒 水 溶 剤	3000倍	収穫前14日まで	3回
ダ ン ト ツ 水 溶 剤	2000～ 4000倍	収穫前日まで	3回

WELCOME

鹿児島県立農業大学校 オープンキャンパスのご案内

開催日	申込〆切
①令和6年8月4日（日曜日）	7/19
②令和6年8月27日（火曜日）	8/9
③令和7年2月15日（土曜日）	1/31

<主な内容>

- ★学校の概要説明，入学案内
- ★学生による学科紹介，卒業生の講話
- ★施設見学
 - ・学生寮，農場，教室など
- ★体験実習
 - ・播種，農作業体験
 - ・茶摘採機乗車体験
 - ・牛の手入れ など

- ※ 鹿児島中央駅からの送迎バスあり
- ※ 遠方の方は，農業研修館で前泊可



- ・農大では様々な資格を取得可能
- ・卒業後は，農業分野を中心に多様な進路
自営就農，農業法人，農業団体，関連企業，公務員，4年制大学編入など

詳細についてはホームページ
をごらんください

鹿児島農大

検索



問合せ・申込み
鹿児島県立農業大学校

TEL (099) 245-1071

FAX (099) 296-6352

日本農業新聞愛読者の皆様へ

日本農業新聞

購読料改定のご案内

謹啓

平素、日本農業新聞ご愛読者の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和6年8月に、日本農業新聞の購読料を下記金額へ改定させていただきます。これまで全国日刊紙として過去30年間本体価格を維持し、安定した新聞発行に努めてまいりましたが、過去に例を見ない用紙費の大幅値上げ、印刷・輸送・配達に係る費用高騰により、経費削減等による自社努力が非常に困難な状況となりました。

ご愛読者の皆様には、昨今の各種値上げの状況下で誠に心苦しいところではございますが、今後の新聞発行と戸別配達網を維持するため、何卒ご理解賜りたく存じます。

あらためて日本農業新聞を今後ともご愛読賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和6年8月1日(木)付からの改定価格

紙版

月額 2,623円(税込) ▶ 月額 **3,100**円(税込)

併読

月額 3,723円(税込) ▶ 月額 **4,200**円(税込)

電子版につきましては、価格改定は
ございません(月額2,403円)

いつもお便り
ありがとうございます！

読者の輪

皆様からのおはがきを
ご紹介いたします

◆春になり、タケノコが裏山に出てきました。煮物・混ぜご飯・味噌汁など、色々楽しめます。美味しく食べています。旬の物って良いですね。

薩摩川内市

50代後半・女性

◆寒暖差の大きい日や雨と晴れの日が交互にやってくる近頃ですが、元気がいいのは野草のみです。あやかりたい気分になります。やがて草取りや衣替えがやってくると思うと、自分も元氣と体力を蓄えておかななくてはと思っています。

さつま町

70代前半・女性



◆伊佐農林高校・薩摩中央高校と2校の農業科があるこの地で農業大学に進学したり、農業関連企業に就職されたりする方が近年とても少なくなってきたと感じます。農業をやっている自分たちがもつともっと頑張つて稼げる魅力的な経営をして、次世代に繋いでいけたらと感じています。

薩摩川内市

60代前半・女性

◆隣家の梅の花の香りを楽しませてもらったので、実も沢山ついているのだらうと思つたら、1個も採せません。強い霜で被害を受けたのでしょうか？今年梅が不作で残念です。

伊佐市

70代後半・女性

◆野菜が少し苦手な息子が4月号表紙の写真を見て「トマトが食べたい」と言い、食べました。とてもキレイで食欲をそそるトマトの表紙でした！

さつま町

5歳の息子のママさん

◆我が家は春の花でいっぱいです。岩つじ、椿、しだれ桃の花、桜、木蓮の花に囲まれています。

伊佐市

70代後半・女性

◆暑い日が早くもやってきて、汗っかきの私には嫌な季節が始まりそうで大変です。物価高なのか電気代も高くなり、年金生活者には本当に大変で涙・涙・涙です。

薩摩川内市

60代前半・男性

◆私は花も木も庭も大好きで、日々手を入れて好きな庭を作り上げてきました。ある日草取りをしていたら、クリスマスローズの株の下に赤ちゃんローズがたくさん芽を出しているのに気づき「うわーっ」と喜びと驚きが声に出てしまいました。頑張つて大きく育てて花を咲かせてね。

薩摩川内市

70代後半・女性

JA 北さつまのInstagramはじめました！



Instagram

お得な情報や
旬な情報を
タイムリーに
お届けします♪

フォロー・いいね
お願いします♪



JAKITASATSUMA

こんにちはAコープです！

新発売！

鹿児島県産の牛乳をたっぷり使ったミルクの風味が“濃い”としたアイスができました！これからの季節にピッタリな大人も子供も楽しめる味です。



スマイルリング商品とは

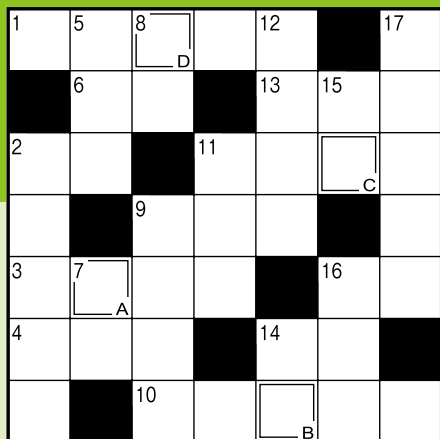
JA鹿児島県経済連グループ・生協コープかごしまの協同組合間提携により、「食の安心・安全と地域産業・地域活性化に貢献する」ことを目的に共同で開発された商品です。

ぜひ、
ご賞味ください！

電子折込チラシ ご利用下さい！

エーコープの折込チラシが、パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。チラシに掲載されていないお買得品やお店からのお知らせ等も掲載しています。※アプリの登録は無料です





二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

■ヨコのカギ

- 1 アジサイに似合いそうな生き物。文部省唱歌の曲名にもなっています
- 2 いとこのお母さんです
- 3 空き店舗に——募集の看板が付いた
- 4 野菜とハムやゆで卵などを盛り合わせて作ります
- 6 6月の第3日曜日は——の日です
- 9 ポシェットやリュックもこの一種
- 10 梅雨時に洗濯物を干すとパリッと乾かずこうなることも
- 11 テレビ・ラジオ欄にたくさん載っています
- 13 倉敷市の——地区を歩いて回った
- 14 足が8本あります
- 16 手前の反対側

■タテのカギ

- 2 うちの——は稲、裏作はキャベツです
- 5 時には相手の——になって考えることも大切だ
- 7 シカと大仏が有名な県
- 8 耕したり肥やしたりします
- 9 カウボーイが首に巻きます
- 11 スポーツ紙では打棒と書かれることも
- 12 LDKのLです
- 14 たる、おけにはめられています
- 15 部屋の模様替えのときに動かすこともあります
- 16 もち米に具材を入れて炊いたもの
- 17 昭和の名曲『青い——』。同名映画の主題歌としても知られています

応募方法

895-1811	①答え
J A北さつま経営企画課	②郵便番号
「クロスワード」係	③住所
薩摩郡さつま町虎居745	④氏名
	⑤年齢
	⑥意見・感想

郵便はがきに①答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥意見・感想などを書いて、左記の宛先まで送ってください。正解者の中から抽選で10名の方に粗品をプレゼントします。締切は6月24日(月)。(クイズの応募で取得した個人情報については、これ以外には使用いたしません)

4月号当選者発表

4月号「パズル？ 頭の体操」当選者は次の方々に決まりました。おめでとうございます。

- | | |
|----------|----------|
| ▷早崎 友子さん | ▷原田 勝子さん |
| ▷安峯 幹人さん | ▷中村真由美さん |
| ▷長谷川和子さん | ▷瀬平紀美代さん |
| ▷田上 美子さん | ▷下鶴マサ子さん |
| ▷橋口 孝介さん | ▷坂元 公子さん |

5月号の解答

ピクニツク



当選者は7月号で発表します。

理事会だより

第2回理事会を4月30日に開きました。次の事項について協議し、すべて承認されました。

【議案】

- ①内部統制システム基本方針の改定について
- ②令和6年度 内部統制システム基本方針運用状況進捗管理表及び不祥事ゼロ運動数値化計画について
- ③第14回通常総代会 開催日時、場所及び提出議案について
- ④第14回通常総代会 議決権行使書等の取扱いについて
- ⑤令和5年度 事業報告及び剰余金処分案の承認について
- ⑥自己改革取組宣言について
- ⑦令和5年度 部門別損益計算書について
- ⑧営農・経済事業の成長・効率化プログラムによるSS集約について
- ⑨営農・経済事業の成長・効率化プログラムによる支所購買拠点の再編・集約について
- ⑩OTM営業店システム改造費用について
- ⑪与信取引に関する利用者への説明態勢にかかる規則の一部改正について
- ⑫共済規程の一部変更について
- ⑬固定資産取得 中津川ライスセンター糶摺機等について

J A北さつまのPB商品



北さつま茶 1ケース 500ml×24本入り
2,600円 (税抜 2,407円)

お求めはJ A北さつま生活課または最寄りの各支所まで！

薩摩中央高校×JA北さつま
夏休み特別コラボ企画

第4回あぐりキッズスクール 申込書・同意書

ふりがな	生年月日	年齢
氏 名		歳
ふりがな	生年月日	年齢
氏 名		歳
住 所 〒		
自宅 電話番号	緊急連絡先（携帯）	
保護者氏名（同伴者）		
体験学習 〔授業名を記入〕 〔例：野菜・草花〕	第1希望	第2希望
		第3希望

同 意 書

私は、上記申込書に記載の親権者として、薩摩中央高校×JA北さつま夏休み特別コラボ企画「第4回あぐりキッズスクール」に参加するとともに、下記の事項について同意します。

記

1. 主催者側が緊急処置のため医療施設に連れて行った場合、その医療施設での経費を支払うこと（主催者による過失の場合は除く）
2. 参加中に撮影した写真や取材談話を、JA北さつまの広報活動（広報誌、ホームページ、日本農業新聞、Instagram等）と薩摩中央高校の広報活動に利用すること

令和 6 年 月 日

保護者氏名

※個人情報につきましては、「あぐりキッズスクール」関連以外には使用いたしません。

第4回 あぐりキッズ スクール

参加者募集!



県立薩摩中央高校とJA北さつまでは、次世代を担う子どもたちに「食」と「農」の大切さを伝えるため「あぐりキッズスクール」を開催します。体験学習を通じて農業の楽しさを学びましょう。

★開催日時 令和6年8月1日(木) 午前9時20分～11時30分 ※雨天決行

★開催場所 薩摩中央高校(さつま町虎居1900番地)

★受講料 無料

★対象者 JA北さつま管内の小学校(低学年)、幼稚園・保育園児 ※未就学児は保護者同伴

★募集定員 30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

★募集締切 令和6年6月28日(金)

★申込方法 「第4回あぐりキッズスクール申込書・同意書」に必要事項を記入し、下記の宛先か最寄りのJA支所窓口までお申し込みください。

★その他 現地集合・現地解散となります。お申込みいただいた方には、後日、詳細のご案内を送付させていただきます。

体験活動

1 野菜・草花

やさいのおはなし、おはなをそだてよう

定員 10名

2 果樹・畜産

くだものをそだてみよう、ウシをじっくりかんさつしよう

定員 10名

3 食品加工・機械工作

アイスクリームをつくってみよう、ネコバスでこうないをはしろう

定員 10名

※希望する授業につきましては、裏面の申込書・同意書の記入欄に第1～第3希望をご記入ください。

■お問い合わせ・申込先 JA北さつま経営企画課「あぐりキッズスクール」係

〒895-1811 さつま町虎居 745 ☎0996-53-1124 FAX 0996-52-1404

※体験活動は都合により変更となる場合がございます。ご了承ください。

四葉のクローバーは幸福のシンボルです。4枚の葉はさつま川内・さつま・伊佐と組合員の絆をイメージ。JAとのつながりで多くの方々々に幸せになってほしいとの願いを込めています。



編集・発行/北さつま農業協同組合・経営企画課
鹿児島県薩摩郡さつま町虎居745番地
電話 0996(53)1121(代)
ホームページ <http://www.ja-kitasatsuma.or.jp/>